

1. 職名・氏名 准教授 山口理恵子

2. 学位 学位修士、専門分野 人間科学、授与機関 西南学院大学大学院、授与年月 2007年
3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等

ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（1）2年次

権利擁護と民法総則（2）3年次

ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（1）3年次

ソーシャルワーク実習（4）3年次

ソーシャルワーク演習Ⅱ（2）3年次

ソーシャルワーク演習Ⅲ（2）3年次

社会福祉演習（2）3年次

卒業研究（4）4年次

権利擁護特論（2）大学院1年次

権利擁護演習（2）大学院2年次

修士論文指導（8）大学院2年次

②内容・ねらい（自由記述）③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）

講義科目「権利擁護と民法総則」（社会福祉学科3年次 経済学部2年次以上）

受講者数が多い（100名以上）ため2回の中間テストを行い、学生同士の採点によってお互いの到達度を自覚するよう促している。相談援助と法律の関係を可視化するため、視覚教材をふんだんに使用している。ただビデオを流すだけではなく、ポイントとなる場面で一旦停止し、解説を入れる等、飽きさせない工夫を行っている。解説には難解な制度を社会福祉の対象者にわかりやすく説明することのできる専門職、金融職や公務員になることの意義も加えている。出席カードにて質問を受け付ける他、授業終了後質問があった場合は、当該学生のみに返答するのではなく、本人の許可を得て次回授業時に質問内容と解答をスライドで解説し全体理解と共有を図っている。

「実習指導Ⅰ」（2年次）

主に「権利擁護」の回を担当している。社会福祉学科の学生があまり触れることのない「実習契約書」を題材に大学、実習先、利用者、学生の4者が担う権利義務関係を説明する。

実習において付帯賠償保険や災害保険の対象とならなかった事例の具体的解説を通して、実習中におけるセルフマネジメント、リスクマネジメントに注意するよう心掛けている。実習指導Ⅰには実践現場1日見学実習も含まれており、その引率（社会福祉協議会）も担当している。

「ソーシャルワーク演習Ⅱ」

前期実習前の科目であるため「権利擁護と民法総則」の講義内で十分深められなかった権利擁護に係る相談援助事例をグループワークによって検討する。その際「権利擁護と民法総則」の復習となるような事例を用いている。

「ソーシャルワーク演習Ⅲ」

後期（実習後）の科目であるが、福井県の現状では未だ学生が実習で成年後見制度の事例に触れる機会が少なく、あっても制度解説に偏る傾向がある。そのため福井県社会福祉士会から外部講師を招聘し、成年後見実践に対する生の声を届かせるとともに講師と学生が自由に質疑

応答、交流を行う等、講義内容を体感し将来の業務がイメージできるよう心掛けている。

「権利擁護特論」(大学院)

社会人の受講者中心で毎年権利擁護の制度に対する把握、関心が異なるため、学生に合わせ柔軟に変更している。まずは実践の場で生じている問題や判例から興味や関心を生じさせ、その後自らの経験にも照らし合わせた内容となるように豊富な教材・資料を用意し、それらからピックアップしている。最終的にはそれぞれの論文の中にこの授業で学ぶ視点が反映されるよう研究テーマに合わせた対応も行っている。

(2)非常勤講師担当科目

①担当科目名(単位数) 開講学校名

②内容・ねらい(自由記述)

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫(自由記述)

④本学における業務との関連性(自由記述)

(3)その他の教育活動

①一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 WEB 社会福祉士精神保健福祉士
国家試験対策講座講師、「権利擁護と成年後見制度」

上記団体が長年にわたり実施している国家試験対策講座の講師ならびに専用テキストの作成を行った。講座は受験対策講座特設サイト「ソ教連国家試験対策講座」(YouTube)にて現在も配信されている。

再生回数は1/20 現在 3,120 回であり、同講座科目中1位である。

(サイト URL) <http://jaswe.jp/webkouza/11kenriyugoto.html>

(※上記について自己点検評価書では項目との兼ね合い、社会・地域貢献に記載している。)

②福井県立大学「社会福祉士国家試験対策講座」「権利擁護と成年後見制度」

昨年に続き福井県社会福祉士会及び本学4年生委員と合同で実施している。講義科目「権利擁護と成年後見制度」を担当するとともに委員会のメンバーとして講座の企画、講師の手配他、講座開催時は受付を担当している。対象者は学生だけでなく県民全体であり、大学HPでPRしている。昨年よりアンケート等により小浜キャンパスでの開催を望む声も多いが学科内の諸事情(自己点検評価書「地域・社会貢献」今後の方向性に記載)もあり対応しきれていない。

もともと学科教員がボランティアとして開始した経緯があるが、すでに学科会議で正式な委員会として承認されている。本学が全国5位以上の合格率の高さを維持し続けていることはこの委員会が出してきた成果の1つでもあり、広報的に有益である。

4. 研究業績

<p>(1)研究業績の公表</p> <p>①論文 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所について)、掲載雑誌名(号数)、掲載(受理)年月日)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 「本人情報シートにおける課題と展望」「成年後見法研究」17号日本成年後見法学会 2020年1月末発行 2019年11月21日受理2. 保護と自律「実践成年後見」No.79号 2019年4月3. 社会福祉士及び介護福祉士法における成年後見業務の位置づけに対する検討～申立支援をめぐる課題を中心に～「社会福祉学」59(1) 2018年5月4. 意思決定支援(障害者権利条約)から任意後見制度を考えるー社会福祉実践からのアプローチを中心にー「実践成年後見」No.71 2017年10月
<p>②著書 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ)、出版年、出版社名)</p>
<p>③学会報告等 (タイトル、報告学会(大会)名(開催年月日)、共同報告者の有無(共同報告の場合は主たる担当箇所) 全て単独発表</p> <ol style="list-style-type: none">1. 第33回日本地域福祉学会大会「成年後見制度利用促進基本計画における法人後見の課題ー申立と受任の関係を中心にー」2019年6月8日2. 「Consideration of the role played by core institutions in the master plan to promote the adult guardianship system in Japan」 25th Asia-Pacific Joint Regional Social Work Conference On Social Work Partnerships towards an Equal Society Asia Pacific Perspective 2019年9月19日3. 成年後見制度における中間アセスメントの必要性に関する研究ー中立性と専門性の見地からー日本社会福祉学会第66回秋季大会 2018年9月9日4. Proposals for clarifying the role of the adult guardianship system under the Certified Care Worker and Certified Social Worker Act in Japan World Conference on Social Work Education and Social Development 2018年7月4日5. Research Related to Assessments Conducted Based on Social Models to Improve the Percentage of Expert Examinations in the Adult Guardianship System Asia Pacific Joint Regional Social Work Conference 2017年9月25日6. 地域における法人後見推進のための基盤整備に関する考察ー社会福祉協議会による法人後見を中心にー日本地域福祉学会第31回大会 2017年6月4日7. 社会福祉士及び介護福祉士法における成年後見業務の位置づけに対する検討 日本社会福祉学会第64回秋季大会 2016年9月11日8. A New Checklist to Support Decision-Making of Persons of Disabilities in the Japanese Adult Guardianship System from a Viewpoint of the Empowerment of Social Workers World Conference on Social Work Education and Social Development 2016年6月28日
<p>④その他の公表実績</p>
<p>(2)学会活動等</p> <p>学会でのコメンテーター、司会活動(担当報告名、担当学会(大会)名(開催年月日))</p> <ol style="list-style-type: none">1. 司会 第64回日本社会福祉学会秋季大会 2016年9月11日
<p>学会での役職など(学会名)</p>
<p>学会・分科会の開催運営(担当学会(大会)名(開催年月日)、開催場所)</p>

(3)研究会活動等

①その他の研究活動参加（参加研究会名、調査活動名（期間））

1. 福井県社会福祉協議会「福井県地域福祉推進研究会」（不定期）
2. 日本弁護士会「成年後見制度利用促進基本計画に関する連続学習会」（年4～5回）
3. 坂井市中核機関委員会事例検討会（2月に1回を基準とし不定期）
4. 関西社会保障法研究会（日本社会保障法学会関西部会）（月1回）
5. 日本成年後見法学会 研究会（年3回を基準とし不定期）
6. 社会福祉士合同事務所「ふくしのしてん」（福岡市）座談会（2月に1回）

②その活動による成果

1. 坂井市法人後見支援委員会委員長（2018年度）「法人後見立ち上げ報告書」
平成31年4月25日発行厚生労働省成年後見制度利用促進ニュースレター15号5頁掲載
(<https://www.mhlw.go.jp/content/newsletter-15-2019.4.25.pdf>)
2. 坂井市中核機関委員会委員による連携体制の整備
公益財団法人日本社会福祉士会令和元年度「中核機関の先駆的取組調査研究事業」（厚生労働省より受託）における先駆的地域として福井県では坂井市が選出された。
3. その他：論文、学会発表、外部資金欄参照

(4)外部資金・競争的資金獲得実績

1. 科学研究費補助金基盤研究(C)「成年後見制度における鑑定率向上にむけた社会モデルに基づくアセスメントに関する研究」 2017年4月～2021年3月 助成額：4,160,000円
2. 福井県立大学KF 枠研究費
「成年後見制度利用促進基本計画における中核機関のあり方に対する研究—本人情報シートの位置づけを中心に—」 2019年4月～2019年5月 助成額：185,000円
3. 福井県立大学KF 枠研究費「成年後見制度利用促進基本計画における地域連携ネットワークと中核機関に関する研究 - 運営主体のあり方を中心に—」
2018年7月～2019年6月 助成額：228,000円
4. 福井県立大学地域貢献研究「地域における法人後見推進のための基盤整備に関する研究」
2017年7月～2018年6月 助成額：200,000円
5. 福井県立大学地域貢献研究（環境整備費・教員海外出張旅費）2017年度 助成額：40,000円
6. 福井県立大学KF 枠研究費「成年後見制度利用促進基本計画に関する研究—福井県の地域連携ネットワークにおける中核機関の位置づけを中心に—」 助成額：251,000円 2017年8月～2018年7月
7. 福井県立大学学長裁量枠研究費B「社会福祉士及び介護福祉士法における成年後見業務の位置づけに関する研究」 助成額：753,000円 2016年8月～2017年9月
8. 科学研究費補助金基盤研究(C)「成年後見制度における社会福祉士の視点を生かしたアセスメントシートによる実証的研究」 助成額：1,950,000円 2012年4月～2016年3月

(5)特許出願

--

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間）
1. 坂井市中核機関委員会委員（2019年4月～現在）
2. 福井市成年後見制度利用促進体制整備連携検討会第1回講師（2019年5月31日） 及びアドバイザー対応（2020年度開始の委員会に委員として就任予定）
3. 坂井市法人後見支援検討委員会委員長（2018年4月～現在）
4. 大野市社会福祉協議会法人後見立ち上げ準備委員（2018年4月～現在）
5. 福井県社会福祉協議会地域福祉推進研究会 オブザーバー（2018年4月～現在）
6. 福井県社会福祉協議会福井県高齢者・障害者日常生活自立支援センター 契約締結審査会委員（2017年4月～現在）
7. 福井県立病院倫理審査委員会委員（2017年4月～現在）
8. 長野県障害者施策推進協議会委員（2012年7月～2016年3月）
9. 長野県社会福祉協議会日常生活自立支援事業のあり方検討会オブザーバー （2014年1月～現在）
10. 上小圏域成年後見支援センター運営委員（2014年6月～2016年3月）
②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間） 「法人後見立ち上げ支援事業」（福井県長寿福祉課委託事業）の受託による坂井市・大野市社協 における委員
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間）
1. NPO 法人シビルブレイン（大阪）理事：専門職による後見受任推進及び市民後見人育成・ 法人後見推進他成年後見制度全般に係る調査研究（2014年5月～現在）
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内の）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間）
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 （事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間）
⑥その他（名称、活動場所、活動期間）
1. 滋賀県彦根市権利擁護サポートセンター（彦根市社会福祉協議会）講座 「よく知って賢く使おう成年後見制度」（仮題）2020年3月14日開催予定
2. 「福井県社会福祉協議会成年後見講座」実践編「成年後見制度の最新動向・権利擁護の諸制 度について」サンドーム福井 2019年12月11日
3. 大分県社会福祉士会・大分県リーガルサポート・大分県市町村・市町村社協合同研修会「市 町村のための成年後見制度利用促進実践セミナー実践的側面から関係機関の連携を考える」 パネリスト 大分県総合社会福祉会館 2019年9月13日
4. 福井市成年後見制度利用促進体制整備連携検討会講師「成年後見制度の現状と課題」 福井市きらら館 2019年5月31日
5. 若狭地区障害児（者）自立支援協議会研修講師「成年後見制度について～障害のある方の権 利を守るためにできること～」2019年3月15日
6. 福井県社会福祉協議会地域福祉推進研究会・福井県家庭裁判所合同研究会発言者 福井県会福祉センター 2019年2月29日
7. 福井県者総合福祉相談所障害者支援課研修会講師 「意思決定支援ガイドラインと権利擁護について」 福井県自治会館多目的ホール 2018年12月12日
8. 福井県社会福祉協議会トップセミナー「成年後見制度を取り巻く状況と法人後見」 富士屋会館 2018年11月12日
9. 公益財団法人日本社会福祉士会「成年後見人養成講座研修」講師 福井県社会福祉センター 2018年9月15日
10. 福井県社会福祉協議会地域福祉推進研究会第1回講師 「権利擁護の動向と成年後見制度について-社協に期待すること-」 福井県社会福祉センター 2018年7月17日

- 11.社会福祉法人陽光会職員研修「障害者に関する権利擁護について障害者の意思決定支援のあり方～」越前市障がい者支援センターひまわり 2018年2月24日
- 12.福井県総合福祉相談所障害者支援課研修会講師
「意思決定支援と権利擁護について - 意思決定支援ガイドライン、成年後見制度利用促進法・利用促進基本計画」福井県自治会館多目的ホール 2017年11月23日
- 13.福井県家庭裁判所「家事事件関係機関と家庭裁判所における連絡協議会」
福井県家庭裁判所（福井県社会福祉士会代表発言） 2017年9月7日
- 14.福井県社会福祉士会成年後見受任組織「ばあとなあ福井」研修会講師
福井県社会福祉センター「成年後見制度利用促進法と利用促進基本計画」
福井県立大学 2017年7月22日
- 15.敦賀市高齢者虐待防止委員会研修会講師
「成年後見制度をめぐる課題と動向」
①敦賀市役所 2017年11月20日（委員会対象）
②敦賀市役所 2017年6月23日（行政職員対象）
- 16.若狭町・美浜町地域障害児（者）自立支援協議会研修会講師
「意思決定支援について-障がいのある方のためにできること」
美浜町生涯学習センターなびあす 2017年3月15日
- 17.坂井地区障害児・者総合支援協議会権利擁護部会研修会講師
「障害者の意思決定支援のあり方について」
あわら市役所3階正庁 2017年3月10日
- 18.奥越地区障害者自立支援協議会相談支援連絡会相談支援専門員・サービス管理責任者等合同研修会講師「意思決定支援について」勝山市福祉健康センターすこやか多目的ホール
2017年3月7日
- 19.新潟県社会福祉協議会法人後見推進研修会講師・パネルディスカッションコーディネーター
「権利擁護と地域づくり～法人後見に取り組む意義～」新潟ユニゾンプラザ4階大研修室
2017年2月28日
- 20.福井県社会福祉士会成年後見受任組織「ばあとなあ福井」研修会講師（大野地区）
「成年後見制度とその課題」多田記念大野有終会館 2016年12月10日
- 21.福井県社会福祉士会成年後見受任組織「ばあとなあ福井」研修会講師
「成年後見制度とその課題」福井県社会福祉センター2016年11月25日

(2)大学が主体となっている地域貢献活動等

- ①公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時）
「一歩先の社会福祉学へ」「成年後見制度の本来のあり方とは一利用促進法と基本計画」
福井県立大学 2017年10月14日 10:40～12:00
「一歩先の社会福祉学へ」「利用者の最善の利益とは一成年後見制度の課題」
AOSSA 603 研修室 2016年6月19日 14:30～16:00
- ②社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時）
高校訪問「看護福祉学部の紹介、対人援助の新たな視点～権利擁護とエンパワメント～」
羽水高校 2016年7月8日 13:00～14:00
- ③その他（名称、活動場所、活動期間）

(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）

- （活動内容、主たる活動場所、活動期間）
福井県社会福祉協議会地域福祉研究会第2回上伊那成年後見センター所長矢澤秀樹氏講師研修
講師招聘に協力及び「協議」に参加
2018年8月2日 15:00～16:30
福井県社会福祉士会「ばあとなあ」運営委員として他団体との調整、法テラス、福井家庭裁判
所との個別協議、困難ケースの支援方法検討 福井県社会福祉士会事務所他

6. 大学の管理・運営

(1)役職 (副学長、部局長、学科長)
(職名、期間)
(2)委員会・チーム活動
(名称、期間)
<p>1.入試本部委員 (2019年4月～現在)</p> <p>2.ハラスメント人権委員 (2019年4月～現在)</p> <p>3.入試制度改革委員会委員 (2017年～現在)</p> <p>4.入試本部委員として以下の高校において大学概要及び学科説明「看護福祉学部の紹介」を実施 2019年7月9日 羽水高等学校 2019年7月23日 福井南高等学校 2019年7月29日 仁愛女子高等学校 2019年10月4日 高志高等学校 (学科教員としての入試訪問 2018年7月24日 武生東高校)</p> <p>5.カリキュラム検討委員会委員 (2018年～2019年3月)</p> <p>6.大学院教務委員 (2017年～2019年3月)</p> <p>7.大学院募集戦略チーム (2017年～現在)</p> <p>8.オープンキャンパス企画担当 (2017年)</p> <p>9.広報地域連携委員会 オープンキャンパス主催、大学パンフレット作製等広報活動 オープンキャンパス講義担当 (2016年)</p> <p>10.国家試験対策委員会委員 (2016年4月～現在) ※以下は「(4) その他自発的活動」に記載していたが同委員会が正式な学科委員会と位置付けられたため記載箇所を変更している。 国家試験対策委員会 4年生、教員有志並びに福井県社会福祉士会からなる委員で構成され、国家試験対策講座等の企画運営を行う。原則月1回開催 (2016年4月～現在)</p> <p>①国家試験対策講座「権利擁護と成年後見制度」担当 福井県立大学 2019年12月3日 11月26日、12月8日対策講座受付担当</p> <p>②国家試験対策講座「権利擁護と成年後見制度」担当 福井県立大学 2018年12月4日 12月9日対策講座受付担当</p> <p>③国家試験対策講座「権利擁護と成年後見制度」担当 福井県立大学 2017年12月5日 対策講座他受付2回担当</p> <p>④国家試験対策講座「権利擁護と成年後見制度」担当 福井県立大学 2016年12月8日 対策講座他受付2回担当</p>
(3)学内行事への参加
(行事名、参加日時)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院中間発表会 2019年10月30日 (2017年、2016年と同様) ・ 学部後期オリエンテーション在学生ガイダンス (人権ハラスメント委員会) 2019年9月24日 ・ 大学院ワークショップ 2019年5月29日 (2018年、2017年、2016年と同様) ・ 学部入学式保護者ガイダンス 2019年4月5日 ・ 学部入学式教員紹介 2019年4月5日 (2018、2017年、2016年と同様) ・ 大学院入学式教員紹介及びオリエンテーション 2019年4月5日 (2018、2017年、2016年と同様) ・ 大学院修士論文ガイダンス 2018年7月19日 (2017年、2016年と同様) ・ SW 実習連絡者会議 2018年8月3日 (2017年、2016年と同様) ・ オープンキャンパス 2018年8月5日 (2017年、2016年と同様) ・ 国家試験壮行会 (4年生) 2018年1月23日 (2017年、2016年と同様) ・ オープンキャンパス模擬授業実施「対人援助の基本的な姿勢～権利擁護」 2016年8月7日 11:20～12:20 ・ 学科教員として入試説明会 2017年11月28日、2018年5月10日を担当

(4)その他、自発的活動など

(活動名、活動内容、活動期間)

- ・ 坂井市中核機関委員会選出委員として坂井市障害児親の会への相談会に出席
- ・ 令和元年度日本社会福祉士会「中核機関の先駆的取組調査研究事業」による坂井市ヒアリングに同席
- ・ 福井市「成年後見制度利用促進基本計画における中核機関の広域実施」に関する個別相談
福井市地域包括ケア課に対する個別相談対応